

組織連携で地域を元気に!

職員や青年部・女性部、生産部会などが連携し、山鹿市主催の「鹿央ふるさと祭り」で出店しています。野菜や花苗、焼きそばや餅などの販売や、組合員の方々が育てた野菜や果物の品評会などを行い、地域住民との触れ合いを通して地域活性化に取り組んでいます。



▲焼きそばを販売する青年部



▲餅を販売する女性部

また、職員が農産物即売会などのイベントにも参加することで、地域住民との交流を図っています。



▲農産物即売会

青年部・女性部の活動

青年部・女性部は、地域に根差した積極的な活動を行っています。

自分で育てて食べる食育活動

青年部では、鹿央地区の保育園児を対象とした田植え・稲刈り・餅つきの体験教室を行っています。鹿央地区出身の職員も加わり、苗植えから食べるまでの一連の流れを学ぶことができる食育活動を行っています。



▲子どもフェスタで勾玉作り

「農」を通じて私生活も充実!

女性部では、日常および農作業時における健康管理のための「ヨガ教室」や、農業を通して交流を図る「生活教室」で花の寄せ植えや料理教室などを開いています。また、地域の小学生を対象に、昔ながらの遊びの伝承や食育活動の一環として「子どもフェスタ」を開催し、勾玉作りや地元野菜のサラダ作りをしています。

鹿央地区



今日における政府・規制改革推進会議※の動向は、JAの総合事業を否定したり、准組合員の事業利用を制限するなど、農協解体ともいえる政府が求める「農協改革」を推し進めようとしています。この事に対し、私たちJA鹿本は、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指して自己改革に取り組んでいます。今回は鹿央地区の取り組みを紹介します。

※規制改革会議とは内閣府の諮問機関。委員14名で構成されている

対話集会で意見交換

組合員、地域住民を対象に「対話集会」を行っています。JAに対する意見や要望、提案を活発に出し、地域の活性化に繋げています。



▲対話集会で意見交換

JA職員での取り組み

鹿央地区出身の役職員は年に2回、ゴミ拾い等のボランティア活動に取り組んでいます。

また、鹿央地区では、地区で行われるイベントや青年部・女性部の積極的な活動を紹介する地区だより「あさがお」を年6回以上発行しています。第3土曜日のふれあいデーに本誌「かもと」と一緒にお届けしています。



▲ボランティア活動



JA鹿本は各事業を通じ、創造的自己改革の実現に向けて取り組みます! 次月号に続く▶▶▶